



【見学会】

日時： 2019年10月4日(金) 14:00～17:00

会場： みなとアクルスエネルギーセンター

主催： (一社) 建築設備技術者協会中部支部 設備女子会

後援： (公社) 空気調和・衛生工学会中部支部

(一社) 日本空調衛生工事業協会東海支部

(一社) 電気設備学会中部支部

(一社) 日本電設工業協会東海支部

(一社) 日本設備設計事務所協会連合会東海ブロック協議会

協力： 東邦ガス株式会社

新聞社取材： 日刊建設通信新聞社、建通新聞社

【みなとアクルスエネルギーセンター見学会】

出席者： 34名 (女性29名・男性5名)

司会： 中部支部設備女子会運営委員 大山智子【大成建設(株)】

1. 開会挨拶

中部支部設備女子会担当マネージャー 榎本賢【(株)大林組】

2. 中部支部設備女子会運営委員 藤原永知子【藤原工業(株)】

3. 東邦ガス株式会社 挨拶

都市エネルギー営業部 営業第二グループ マネージャー 大森亮 様

4. 東邦ガスからの情報提供

都市エネルギー営業部 営業第二グループ 柴田佳奈 様

5. みなとアクルスエネルギーセンター施設概要説明

用地開発推進部 港明開発グループ 主任 石橋奈保子 様

6. 施設見学

7. 質疑応答

8. 建築設備技術者協会の紹介と事業案内

閉会挨拶

中部支部設備女子会担当マネージャー 岸野豊【大成建設(株)】

【交流会】

日時： 2019年10月4日(金) 17:30～19:30

会場： もつ鍋「無一」

出席者： 25名 (女性21名・男性4名)

司会： 中部支部設備女子会運営委員 近藤由美【(株)大林組】

1. 開会挨拶

(一社) 建築設備技術者協会中部支部 理事 藤原和彦

2. 乾杯

中部支部設備女子会運営委員 鈴木法子【日比谷総合設備(株)】

3. 懇談

4. 閉会挨拶

中部支部設備女子会運営委員 藤原永知子【藤原工業(株)】

【開催概要および感想】

昨年OPENした、ららぽーと名古屋みなとアクルス横にある「みなとアクルスエネルギーセンター」にて施設見学会を行った。

同センターはガスコージェネレーションシステムを利用し、周辺地域にエネルギーを供給しており、運河を利用し災害時でもエネルギー供給が可能な施設となっている。2階にガスコージェネレーションシステム、3階に中央監視室を設け、24時間365日、使用状況を把握することが可能。また、港が近いため、屋上には津波避難スペースがもう置かれており、ららぽーとの屋上駐車場と含めると約1000人の避難が可能となっている。施設には、業務用厨房ショールームが併設されており、「涼厨」の温度体験や、VRを使った気流の流れなどの体験をおこなった。厨房機器を使った焼きたてのクロワッサンもいただき、おなかも満たされた見学会となった。東京、大阪、石川、滋賀からの参加者もあり、交流会では初めて会ったとは思えないほどに盛り上がり初めての参加者からは「皆プロフェッショナルとして、誇りをもって仕事をしている。とても良い刺激になった。」との感想もあった。

【参加企業】(順不同)

(株)竹中工務店・新菱冷熱工業(株)・コーエイ設計室・不二熱学工業(株)・積水化学工業(株)・藤原工業(株)・日比谷総合設備(株)・(株)大林組・(株)豊建築設計事務所・(株)朝日機器エンジニアリング・(株)トーエネック・大成建設(株)・(株)照電・ダイワ空調設備(株)・新日本空調(株)・ニッケイ(株)・(有)NY38・三谷産業(株)・特許機器(株)・大冷工業(株)・ニシム電子工業(株)・東邦ガス(株)



建通新聞社

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

設備女子会 省エネ・省CO2のまちを見学

2019/10/7 中部

建築設備技術者協会中部支部設備女子会は10月4日、みなとアクルスエネルギーセンター見学会を開いた。東海地区だけでなく、東京、大阪、石川、滋賀の都府県から34人が参加し、省エネルギー・省CO2を実現する設備を見学した。

設備女子会の藤原永知子氏（藤原工業経営企画室室長）は「北海道から九州までの8エリアの支部で、春と秋の年2回定期的に活動を行っているのは中部支部のみ。設備女子会のトップランナーの役割を果たせたら幸い」と語った。

ナゴヤドーム約6個分のまちのエネルギーを支える、エネルギーセンターではガスコージェネレーションシステムを中核に、発電の際に発生する排熱を有効活用するバイナリー発電機（低温排熱利用小型発電機）や蒸気吸収式冷凍機、ジェネリンク（排熱回収増加型ガス焚冷温水発生器）を見学。隣接する中川運河の運河水を利用する運河水利用ヒートポンプや太陽光発電とあわせ、全体のエネルギー情報をネットワーク化して一括管理するC E M S（コミュニティ・エネルギー・マネジメントシステム）の全体概要を学んだ。

また、併設されている体験型業務用厨房ショールームでは、病院や社会福祉施設などで導入が増えているスチームコンベクションオープンなどを見学した。



ガスコージェネレーション発電機を見学する参加者

みなとアクルス エネルギーC見学

JABMEE中部
支部設備女子会

建築設備技術者協会（JABMEE）中部支部設備女子会は4日、名古屋市のみなとアクルスエネルギーセンターで第7回見学会を開いた。空

が管理する同センターの内部を見学した。写真。

目頭のあいさつで同支部設備女子会の榎本賢担当マネージャーは「電力の効率化など



新しい技術を学んでほしい」とし、藤原永知子運営委員は「同じ業界で働く仲間たちと交流を深めたい」と述べた。

続いて東邦ガスの大森亮都市エネルギー営業部営業第二グループマネージャーが「センターには、低温排熱利用小型発電機などの新しい設備がある。皆さんの仕事の参考にしたい」と語り、昨年9月にオープンした施設の概要を解説した。その後、同社の手掛ける都市ガスの供給事業について説明し、石橋公保子用地開発推進部港明開発グループ主任が施設内を案内した。

